

ワコール新京都ビル

京都市南区



建築主

株式会社ワコールホールディングス

総合監理

株式会社ユウ・コーポレーション

設計施工

飛鳥建設株式会社

環境調整空間確保による 快適な窓際エリアの創造

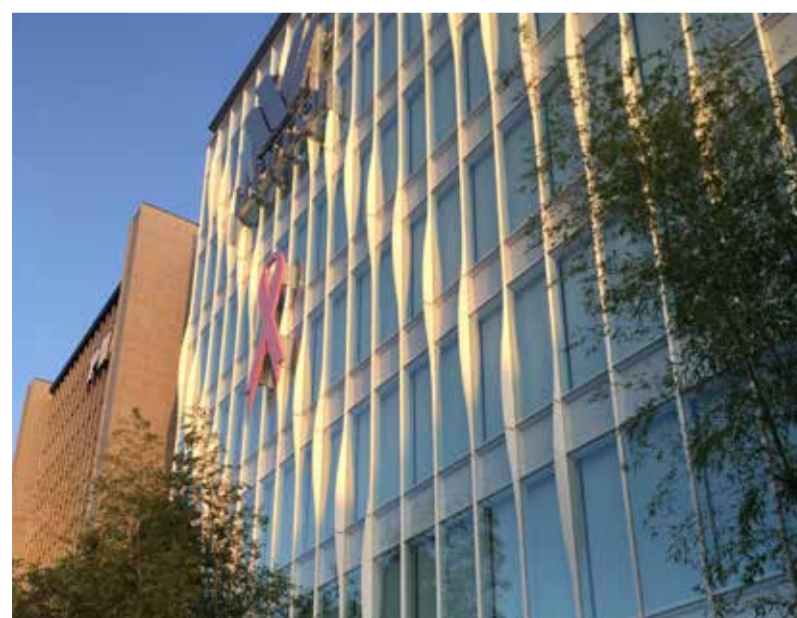
Low-e複層ガラスのカーテンウォールの内側に高遮蔽ロールスクリーンと高遮蔽ブラインドをダブルに設け環境調整空間を確保し、天井部分には排気用スリットを設け外装からの熱負荷の低減や日射のコントロールを行っている。

地域産木材の利用や竹による 京都市らしさの表現

床の下地材等に「京都府産木材」を積極的に活用して、環境負荷低減を図っている。また、エントランスホールには「竹」を植栽したり「格子」をモチーフとした天井などを設けることで、京都市らしい空間創りを行っている。

竹の植栽と三和土による自然材料を活かした 景観・環境への配慮

大通側に「竹」を植栽し、「三和土」仕上の通路を設けて自然素材を活かした空間とした。京都の新幹線の出入口である「八条口」の整備計画に合わせるように「竹」による街並みを計画し、景観・環境への配慮を行っている。



土間のある家

京都市中京区



建築主

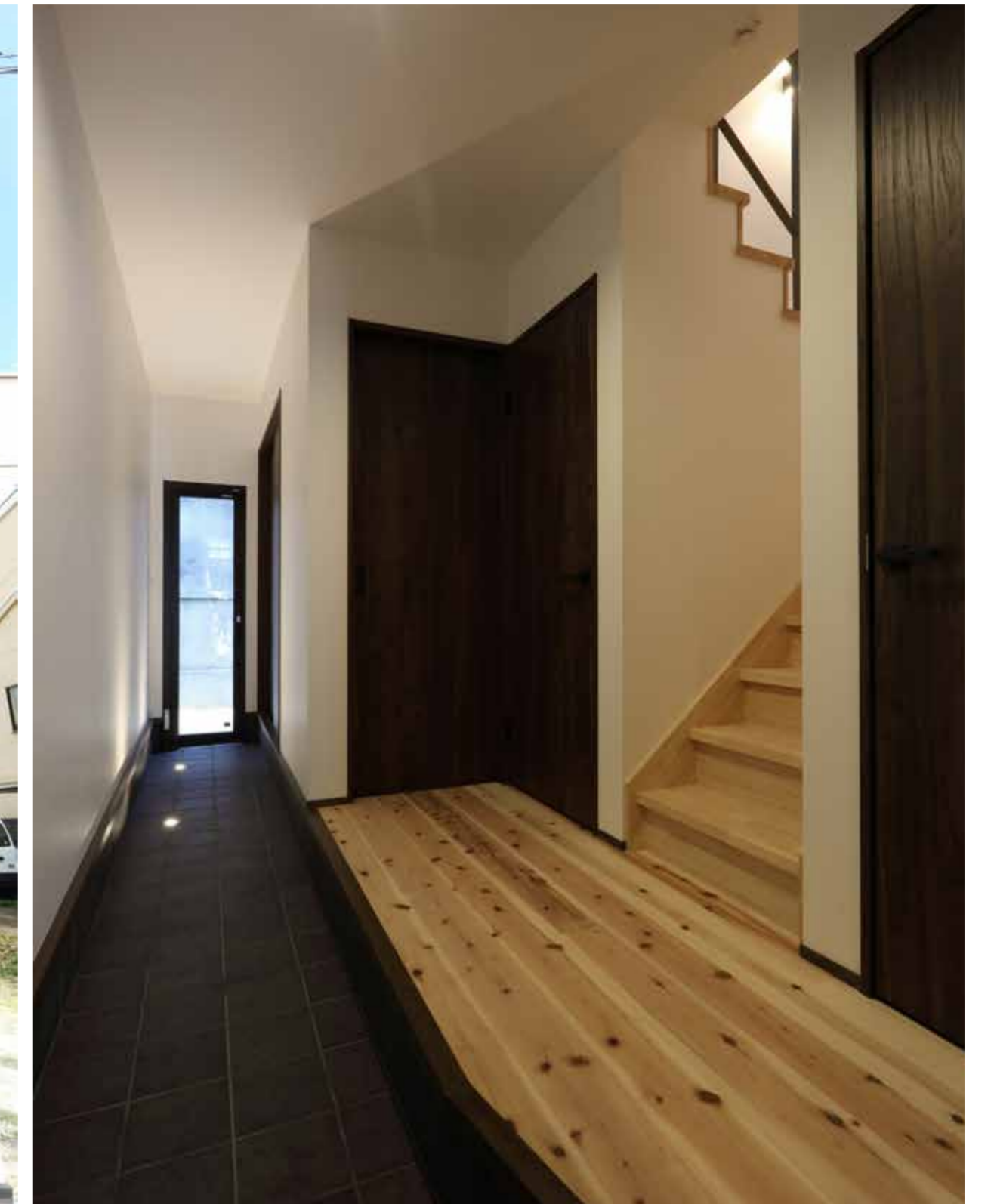
山口 耕平

設計者

株式会社ステージホーム

施工者

株式会社ステージホーム



深い軒庇による 外壁の保護と夕立対策

開口部上に深い庇を設けることで外壁を保護するとともに、降雨時の屋内への雨水浸入を防いでいる。これにより、夕立の多い夏場でも自然換気のために窓を開けはなすことが可能となり、空調を利用せずに室内が高温になることを防ぐことができる。



軒の連続への配慮や近隣の方を 応接できる土間の設置

古くからの町家が並ぶ通り景観に配慮し、駐車スペースを土間として屋内に取込み、周辺の建物と外壁の位置、軒の高さ、出幅を合わせた形とした。土間は応接空間となっており、外部とは木製の糸屋格子で穏やかに繋がりに必要に応じて開け放すことも可能である。



東西の開口設置による 通風経路の確保

各階の東西に開口を設け、自然に風が抜ける計画としている。通りに面した1階土間には換気窓を設けており、夜間においても換気窓と反対側の勝手口を開けることで、風が土間から通り庭、濡れ縁に流れる計画としている。

